

第2学年2組 グローバル・スタディ科学習指導案

平成28年11月4日(金) 第5校時

授業者 教諭 野川 ひとみ

2年2組 男子16名 女子17名

計33名

1 教材名

SUNSHINE ENGLISH COURSE2 第7課 If You Wish to See a Change

2 教材について

本題材は、環境を守りたい一心で幼いころから活動している女性、セヴァン・カリス＝スズキが12歳の時、地球サミットで行ったスピーチの一節から話が展開されている。マハトマ・ガンジーの「見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい」という言葉を引用し、セヴァンは、多くの人の助けによって現在の生活が成り立っているということを訴えている。そして、リオの貧しい子どもが人と物を分け合うことを知っているのに、なぜ、豊かな現代に生きる我々が欲深いのかを問うている。

また、上記にあるように、本課では環境問題について生徒自身が主体的に考える機会を設けている。それと同時に、行動を起こす必要性を説き、強く生きる一人の少女の生き方に触れることで、生徒が自分の将来の生き方を考えることが期待できる。

本課で扱う言語材料としては、動名詞、look(become)+形容詞の文、目的語を2つとる第4文型を扱う。これらを学ぶことにより、生徒が自分自身について英語で表現したり、相手に詳しく質問をしたりして、表現の幅をより広げることができる。

3 生徒の実態

本学級は素直で知的好奇心が旺盛な生徒が多く、疑問に思ったことはすぐに質問をしたり、積極的に発言したりする生徒が多い。中には、教師が授業内で使用するクラスルーム・イングリッシュにも関心を示し、教師の発話の後に続いて繰り返し発話する生徒もいる。黒板に注目し、授業に集中して取り組む生徒が多い一方で、集中力が持続せず、すぐに周りの生徒と私語をする生徒もいる。そのため、一つひとつの学習活動(例えば新出単語の確認、オーラル・イントロダクションなど)にかける時間を長く取りすぎないように、様々な学習活動を50分の授業内に盛り込むことにより、生徒が飽きずに集中力が持続するよう工夫している。

また、本学級の生徒は学習内容の理解度が早く、新出事項を用いて話すことはできる。しかし、これまでに学習した表現を織り交ぜながら人と会話をすることが難しい。よって、表現の幅を広げるために、今までに習った表現を使いながら会話ができるようなアクティビティを多く取り入れるように意識している。

4 学校課題研究「確かな学力をつけさせるための授業改善の研究

～五感に訴えるICTの効果的な活用～との関連

さいたま市の学校教育の指針の一つでもある「確かな学力」を育むためには、生徒一人ひとりが意欲的かつ、主体的に英語の学習に取り組む工夫が必要だと考える。生徒が興味・関心をもって学習す

るために、ICTを活用することが効果的である。ICTを活用することの利点の一つとして、授業導入時に画像と共に英文を表示することで、イメージが湧きやすく、生徒の興味を引くと同時に、英語が苦手な生徒であっても理解が早まることが期待できる。理解が早まることで、教師が説明にかける時間を抑えることができ、その分、「話すこと」「書くこと」などの言語活動に多くの時間をかけることも可能となる。生徒が英語を使う場面を増やすとともに、発展的な学習活動を取り入れ、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる能力の基礎を養っていきたい。そのため、新出言語材料の導入時にはICTを積極的に活用するように努めている。

5 指導目標

- ① 一人の女性の生き方を通して、環境問題を始めとした世界のあらゆる問題に目を向け、生徒一人ひとりが自分の意見や考えをもつことができる。
- ② 動名詞を用いて、自分の趣味についてより詳しく説明したり、クラスメートと問答したりすることができる。
- ③ <look+形容詞>を用いて、人やものの様子や状態を表現することができる。
- ④ 第4文型をとる give を用いて、人に何かを与えるという表現を使うことができる。

6 指導計画と評価規準（6時間扱い）

時	学習活動 ・ 学習内容	評価規準 (表中の<L><S><R><W>は、それぞれ4領域の「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を表す。)			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1 (本時)	動名詞を理解し、運用する。 ・基本的な用法の練習 ・アクティビティ	間違いを恐れず、積極的にコミュニケーション活動に取り組んでいる。<S>	自分や友達の趣味について、より表現豊かに英文を正しく書くことができる。<W>		
2	前時の復習 Section1の内容確認 ・本文の内容理解 T/F Question Q and A ・本文音読		発音やアクセントに注意しながら、感情を込めて音読することができる。<R>	まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。<L>	

3	「動詞＋形容詞」 ＜look＋形容詞＞を 用いた文を理解 し、運用する。 ・基本的な用法の 練習 ・アクティビティ	間違いを恐れ ず、積極的にコ ミュニケーショ ン活動に取り組 んでいる。 ＜S＞	「～のように見 える」という、 人や物の様子に ついて正しく書 くことができ る。 ＜W＞		人や物の状態や 様子を表す「動 詞＋形容詞」の 用法、意味につ いて身に付けて いる。 ＜W＞
4	前時の復習 Section2 の内容確 認 ・本文の内容理解 T/F Question Q and A ・本文音読		発音やアクセント に注意しながら、 感情を込めて音読 することができる。 ＜R＞	まとまりのある 英語を聞いて、 全体の概要や内 容の要点を適切 に聞き取ること ができる。 ＜L＞	
5	第4文型＜give＋人 ＋もの＞を理解 し、運用する。 ・基本的な用法の 練習 ・アクティビティ	間違いを恐れ ず、積極的にコ ミュニケーショ ン活動に取り組 んでいる。 ＜S＞	誰かに何かを与 えるという英文 を正しく書くこ とができる。 ＜W＞		誰かに何かをす るという表現の 第4文型につい てその用法、意 味について身に 付けている。 ＜W＞
6	前時の復習 Section3 の内容確 認 ・本文の内容理解 T/F Question Q and A ・本文音読		発音やアクセント に注意しながら、 感情を込めて音読 することができる。 ＜R＞	まとまりのある 英語を聞いて、 全体の概要や内 容の要点を適切 に聞き取ること ができる。 ＜L＞	

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・間違いを恐れず、積極的にコミュニケーション活動に取り組んでいる。＜S＞
- ・自分や友達の趣味について、より表現豊かに英文を正しく書くことができる。＜W＞

(2) 教具

教科書、T - NOTE、TV、ワークシート(2種類)

(3) 展開

凡例：＜領域＞、(評価の観点)、[評価方法]

過程	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ○評価 ◎ICTの活用により期待される生徒の変容
導入 7分	① あいさつ ② クイック・インプット -ワークシート使用- 生徒は隣の席の人とペアになる。 制限時間 2分 30秒以内に 20の英文を言う。	・早く言うことを意識して正確性に欠けることのないように注意を促す。
<p>(活動例)</p> <p>Student A: 今日の日付と曜日を言って。(ワークシートに印字されている日本語を読む。)</p> <p>Student B: It is November 4th. It's Friday. (何も見ずに StudentA に英語で答える。)</p> <p>Student A: 今日の天気と気温は。</p> <p>Student B: It's sunny and cold.</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>Student A: 英語が好きそうな人を教えて。</p> <p>Student B: I know ○○ likes English.</p> <p>終わり次第記録シートに記入。例) 20項目を全問正しく 1'15までに言えたら特級 1'30までに言えたら 1級 等 2分 30秒が経過したらタイムアップ。役割を変えて同様に行う。</p>		
展開 38分	③ 新出文法の導入 -パワーポイント(P.P.)使用- パワーポイントを用いて、本課で学習する動名詞を導入する。	◎パワーポイントを使用することで、画像と文字の効果で視覚的に分かりやすい導入ができる。また、生徒の興味を引くことができ、集中力も高まることが期待できる。
<p>(導入例) ※網掛け部分は、強調して発話する文(語句)</p> <p>Teacher: What do you do in your free time?</p> <p>Students: Umm...read a book. / listen to music. / バスケする / ゲームする ...など (一部日本語で答えると予想する。)</p> <p>Teacher: Good! In my case, I enjoy (P.P.で、サッカーボールの写真を提示する)</p> <p>Students: play soccer?</p> <p>Teacher: Close! I enjoy watching a soccer game. このように、自分のことについて 1~2つ程度の例文を提示する。 次に学年の教員について同様にクイズ形式で例文を示す。</p> <p>Teacher: I asked the same question to other teachers. First, Mr. Otsuka !! Please guess. What does he enjoy in his free time?</p> <p>Students: play tennis? / watch a movie?... (場合によってはヒントも与える)</p> <p>Teacher: Good guess! I'll show you a picture. What does he enjoy in his free time?</p> <p>Students: Umm...He enjoy listen to music. / He listens to music. (様々な答えが返ってくると予想する。)</p>		

Teacher: I enjoy watching a soccer game. So, he...(自分の例文を示し、ヒントを与える。)

Students: He.... He enjoys listening to music!

Teacher: That's right!! **He enjoys listening to music.** He often listens to Mr. Children.

Next, Mr. Yamashita !! What does he enjoy in his free time?

Students: Umm.....playing baseball? / reading a book / enjoys watching TV?.....

Teacher: Very good! Look at this screen. What does he enjoy?

Students: He enjoys reading some books.

(英文が言えないようであれば、ヒントを与えながら生徒から英文を引き出す。)

Teacher: Excellent!! **He enjoys reading some books.** He learned baseball from books.

以上のように、他にも教員を例に挙げ、動名詞を使った英文を多く用いて、生徒が本時の学習事項に気が付くように導入を行う。

④ 口頭による、導入の整理 -P.P.使用-
ワークシートの[Today's Goal]と連動した導入のまとめを行う。

・英語が苦手な生徒も、導入で扱った新出文法を理解できるよう、簡単に内容を整理する。

○ { I enjoy watching a soccer game. 「～することは楽しい」
He enjoys reading some books. ※口頭で enjoy 以外の動詞も使えることを説明する。
動名詞の部分空欄にしておき、生徒から引き出す。板書をさせず、口頭で導入を簡単にまとめる。「⑨本時のまとめ」の部分で板書する時間を設ける。

⑤パターン・プラクティス -P.P.使用-
P.P.の絵を見て、誰が何をすることが好き(あるいは楽しい)かを、動名詞を用いて口頭練習をする。全体で発音→列ごとに個人で発音

・暗記できるくらいしっかりと口頭練習するよう促す。
◎複数の画像を次々とテンポよく切り換えることにより、より多くの口頭練習をさせることができる。

(例文)

・ I enjoy { singing a song.
watching a movie.
studying English. } He/She likes { swimming in the sea.
playing the video games.
playing tennis. }

⑥自己表現<ペアワーク>
パターン・プラクティスの練習を基に、自分

・自分自身のことについて表現する。
・相手の言ったことを繰り返したり、相槌を打

	<p>自身のことについて動名詞を用いて、隣の人と簡単に練習をする。</p>	<p>ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで起立して練習する。例のように、お互いに確認し合えたペアから着席する。
	<p>(例)</p> <p>StudentA : I enjoy playing soccer.</p> <p>StudentB : Oh, nice! You enjoy playing soccer. I like reading a book.</p> <p>StudentA: Great! You like reading a book.</p>	
	<p>⑦ アクティビティ -ワークシート使用-</p> <p><What do you enjoy in your free time?></p> <p>ワークシートに印字されている「会話例」を参考にインタビューをする。</p> <p>インタビュー相手の趣味を聞き、メモを取る。</p> <p>⑧ アクティビティの復習 -ワークシート使用-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティで扱った、本時の学習事項である英文を正確に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用して、より多くのことを相手に質問できるように、活動前にモデルを示すことで例文を提示する。 ○間違いを恐れず、積極的にコミュニケーション活動に取り組んでいる。 <S>(関・意・態)[観察] ・個別に支援が必要な生徒については、机間指導を行う。 ・間違いの多い点は全員で共有する。 ○自分や友達の趣味について、より表現豊かに英文を正しく書くことができる。 <W>(表現) [観察、ワークシート回収]
<p>ま と め 5 分</p>	<p>⑨ 本時のまとめ -P.P.使用-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめとしてワークシートの[Today's Goal]を確認する。 ・宿題の提示・次回予告 <p>次回の授業では、セクション1の本文読解を行うことを伝える。それに伴い、予習をするように言う。</p> <p>⑩ あいさつ</p>	